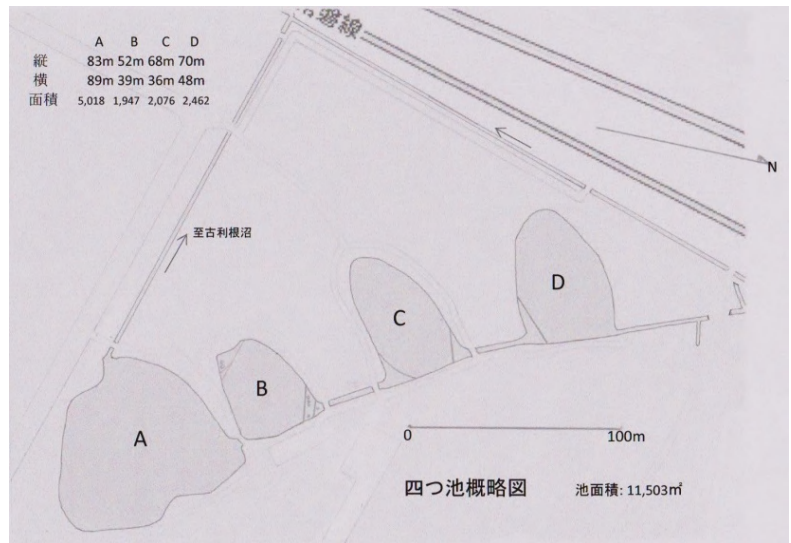


# 利根川氾濫原である湧水池(四つ池)での池干しによる外来魚駆除活動

手賀沼水生生物研究会

手賀沼水生生物研究会では民間企業事業場内にある湧水池（4つの池、〈通称A池～D池〉があり、「四ツ池」と呼ばれている）において、約5年間、外来魚駆除と、希少トンボほか在来生物の保全に取り組んで来ましたが、11月13日～12月3日、将来の保全を見据えてD池の池干しを行いました。実施に当たり、秋田淡水魚研究会に協力を仰ぎ、11月23日～24日には同会事務局の熊谷雅之氏を講師に招聘。池干しについての指導をいただきました。両日をふくむ約10日間にオオクチバスの大型成魚約130匹、ブルーギル大型成魚約350匹（ほか稚魚多数）を駆除したほか、フナ類約240匹、コイ約70匹、ワタカ、ハゼ類、テナガエビなどを捕獲・保護。さらに、イシガイ500体以上を保護するなど、大きな成果を上げることができました。



池干し前の満水のD池



完全に水抜きができたD池



駆除したオオクチバス、ブルーギル 希少なイシガイも多数見つかる 40 cmを超えるゲンゴロウブナ